



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

カタール：アルジャジーラ総局長のメッセージ

(13日付シャルク紙)

13日付シャルク紙（アラビア語）は、アルジャジーラのアフマド・ビン・ジャーシム・アール・サーニー総局長の、同放送局スタッフに向けたメッセージを掲載した。同メッセージは、アルジャジーラのウェブサイトにも掲載されている。

親愛なる同僚の皆さま、

私の就任初日に際し、皆さまへの心からの挨拶と感謝の気持ちを込めて、私のメッセージを送りたい。すべてのチャンネル、事務所、支局、コントロール・ルーム等のあらゆる場所で、カメラと心にアルジャジーラのモットーを掲げて働くあなた方に敬意を表し、チャンネルと所属を問わず、ドーハ、そして世界中で活躍するあなた方を賞賛する。

親愛なる同僚の皆さま、

このメッセージは、あなた方への初めての言葉になる。アルジャジーラが15年前から追求してきている視聴者のための価値、任務、視点を明確にし、勇気のある報道および深い洞察に基づく分析を備えた、公平かつ独立したメディアでなければならない。多くのメディアが政府と企業の間をさまよう中、アルジャジーラのコンパスはかつて、そして現在も自由の方向を指している。この信念を貫く過程で、アルジャジーラはハラスメント、特派員の拘束、そして支局の閉鎖等、数々の圧力を受け、我々のスタッフが殺害されるまでに至った。しかしながら、これらの脅威はあなた方の任務を妨害することはできず、あなた方は志をもって、アルジャジーラのモットーを追及している。

本日、私は世界的な組織であるアルジャジーラに加わった。私はこれを誇りとするとともに、アルジャジーラが「意見、そして異なる意見」の拠り所であり続けることを約束する。そのためには、いかなる努力も惜しまず、我々の任務を妨害する者については断固とした態度で対応する。私の扉と心とは、アルジャジーラのさらなる発展のため、常に開かれている。私の役割は今日から始まり、我々には全力を尽くして、アルジャジーラの業務を遂行する必要がある。

親愛なる同僚の皆さま、

アルジャジーラの成功には、ターレク・アイユーブ、ラシード・ワーリー、アトワール・バフジャト、アリー・ハサン・ジャーベルといった同僚たちの犠牲と、タイセール・アッル

一ニー、サーミー・ハーヅジ、サーメル・アッラーウィーといった牢獄で自由を奪われた同僚たちがいることを忘れてはならない。また、多くの圧力に耐え、その価値と役割を尊重してきたアルジャジーラの設立者たちの努力がなければ、今日のアルジャジーラの成功は成していなかったであろう。今一度、我々はアルジャジーラの立場と役割を守り、信頼あるニュースを提供し、勇気を持って現場に挑み、「意見、そして異なる意見」の視点で分析し、先駆者としてあり続ける必要がある。

以上が私のメッセージである。我々はアルジャジーラの一員であり、アルジャジーラの価値を堅持し、競争の中を勝ち抜かなければならない。これが、アルジャジーラを設立した者たちの念願であり、我々の前任者たちが作った道、そして、我々の運命である。